

平成30年

1

商工連しまね

No.324

主な内容

- 2 会長年頭のあいさつ
- 3 県知事年頭のあいさつ
- 4 青年部、女性部会長年頭のあいさつ
青年部女性部50周年記念大会
- 5 商工会しまね県大会
- 6 商工会全国大会
優良商工会等の表彰
- 7 首都圏商談会
消費税の軽減税率制度について②
- 8 マイクロスーパー「かもマート」開店
- 9 珠算検定合格おめでとう

発行/島根県商工会連合会
松江市母衣町55番地4
TEL 0852-21-0651
石見事務所
TEL 0855-22-3590
URL <http://shoko-shimane.or.jp>
E-mail shokolen@shoko-shimane.or.jp
印刷：株式会社クリアプラス

飯南町「大しめなわ創作館」(提供：飯南町商工会)

謹賀新年

「信頼され、役に立つ
新しい商工会」を目指して

島根県商工会連合会会長 石飛 善和



新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、平成30年の新春を、健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

2. 商工会の目指すべき方向

昨年10月23日には『未来を描き行動しよう』企業の明日が地域をつくる』をスローガンに、恒例の「商工会しまね県大会」を開催しました。大会では、県内二十一商工会から、150余人が参集し、各企業が経営戦略を明確にし、強い企業体質への転換を図ることにより、持続的発展と円滑な事業承継を進めること。そして、次世代を担う人材を育成し、企業と共に地域の未来を創造することを満場一致で大会決議としたところです。

本年は「戌（いぬ）年」です。「戌の日」はお産に「吉」であることから、新しいものを生み出す年と言われています。皆様におかれましては、新たな商品・サービスの開発や販売先の開拓など、新たなモノへのチャレンジの年となりますことを願うところです。

1. 商工会を取り巻く現状

国内経済は、緩やかな回復基調が続く、企業収益も堅調に回復しました。しかし、戦後二番目の長さとなったこの景気回復の波も、その恩恵は大企業や都市部の企業にとどまり、地方の中小企業・小規模事業者は、過疎化や人口減少による地域内の消費の縮小、働き手や後継者の不足など、事業を継続することすら困難となる厳しい環境が続

3. 新しい年の取り組み

本年は、県下全商工会及び県連が役員改選を行います。新しい組織体制により、商工会の目指すべき方向を再確認し、本来の使命を果たすために、行動力とスピード感のある商工会活動をお願いいたします。そして、疲弊する地域に活力を取り戻す「地方創生」を進めるためにも、行

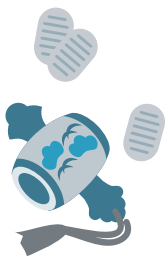
政機関や関係団体と連携して、地域資源を活かした農工商連携事業など、地域の産業振興を積極的に推進していただきたいと思います。

連合会といたしましても商工会と一体となり、発達支援計画を含む中期行動計画の着実な実行を支援しながら、事業に携わる商工会職員の意識改革を徹底し「信頼され、役に立つ新しい商工会」を目指し、活動してまいります。

4. 結びとして

本年が、商工会にとって実り多き年とするためにも、県内九千余名の会員の皆様、青年部・女性部の皆様と一致団結し、地域経済の振興と地方創生の実現を目指し、役職員が心を一つにして邁進する所存でございますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、会員並びに関係者の皆様にとりまして、健康で明るい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。



島根県商工会連合会 (商工会名等)

会長 石飛 善和 (出雲)

副会長 安部 廣 (まつえ南)

専務理事 高橋 万夫 (県連合会)

理事 門脇 榮行 (まつえ北)

理事 藤原 敏孝 (安来市)

理事 植田 良二 (奥出雲町)

理事 高橋 日出男 (雲南市)

理事 森島 功武 (飯南町)

理事 長岡 秀治 (斐川町)

理事 室家 隆一 (出雲)

理事 岡田 耕正 (銀の道)

理事 上原 謙二 (美郷町)

理事 末田 幸雄 (邑南町)

理事 森下 勝義 (桜江町)

理事 椿村 康隆 (津和野町)

理事 野村 吉秀 (隠岐の島町)

理事 今咲 克己 (西ノ島町)

理事 高橋 大輔 (県青連)

理事 大谷 恵美子 (県女性連)

監事 加藤 勇 (東出雲町)

監事 榎岡 正明 (石中央)

監事 松本 正福 (まつえ北)

島根県商工会青年部連合会

会長 高橋 大輔 (雲南市)

副会長 多田 悟史 (飯南町)

理事 尾添 泰宏 (出雲)

理事 佐々岡 稔行 (石中央)

理事 榎原 一成 (まつえ北)

理事 杉原 雅也 (雲南市)

理事 青野 武文 (斐川町)

理事 濱野 章一郎 (邑南町)

理事 山本 育路 (桜江町)

理事 福原 真治 (吉賀町)

理事 岸本 裕子 (隠岐の島町)

理事 塚谷 昌史 (東出雲町)

理事 協谷 誠 (隠岐の島町)

監事 大谷 恵美子 (津和野町)

副会長 石原 富江 (東出雲町)

理事 青野 幸子 (斐川町)

理事 古野 房子 (桜江町)

理事 高木 恵子 (まつえ南)

理事 野々村 三重子 (雲南市)

理事 田中 弘美 (出雲)

理事 末田 百合子 (邑南町)

理事 宮本 美保子 (石中央)

理事 門脇 洋子 (隠岐の島町)

監事 多々納 睦子 (雲南市)

監事 道前 恵 (西ノ島町)

「子育てしやすく 活力ある 地方の 先進県 しまね」の実現に向けて

島根県知事
溝口 善兵衛



新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に「日が沈む聖地出雲」が新たに日本遺産に認定されました。島根での日本遺産の認定は、一昨々年の「津和野今昔」、一昨年の「出雲國たたら風土記」に続き3年連続となりました。

これらは、地元市町や商工会など多くの皆様の長年のご努力の成果であり、深く敬意を表する次第であります。

また、石見銀山は世界遺産登録から10周年を迎え、これを記念して開催しました「石見銀山展」には多くの皆様にご来場いただき、石見銀山がもつ世界的な価値などに触れていただくことができました。

県としても、これらを好機として、地元市町とも連携し、島根の古き良き文化・歴史、豊かな自然などを国内外に発信し、今後またたくさんの方にお出でいただけるよう、ご縁をつなげ、産業振興に取り組んでまい

ります。

さて、日本経済の動向を見ますと、緩やかな景気回復の動きが続いておりますが、引き続き各国の経済動向や金融市場の変動などに留意する必要があります。

県内経済におきましても、企業の生産活動など全体として持ち直しの動きが続いておりますが、人口の減少に伴う国内市場の縮小や産業人材の不足への対応が急務となるなど、依然として厳しい経営環境にあると認識しております。

このため、県においては、若い人たちが安心して働ける、魅力ある雇用が増え、年代を超えて地域の将来を描ける「子育てしやすく 活力ある 地方の先進県 しまね」の実現を目指して、産業の振興に全力で取り組んでまいります。

地域活力の源泉である中小企業・小規模企業支援については、引き続き、企業の経営力の強化を図りながら、地域資源を活用した商品開発、円滑な事業承継の支援、地域の生活を支える商業の維持・強化を図る取組など、

商工会をはじめとした関係団体や市町村と連携して、進めてまいります。

また、県内企業における人材確保も支援してまいります。学生と企業との情報交換会を昨年12月松江市で開催したほか、1月には東京でも開催することとしております。

このほか、ものづくり産業の企業説明会を、今年度は2会場から6会場に増やして実施するなど、引き続き、県内企業の人材確保に向けた支援を進めてまいります。

商工会の皆様には、日頃から、地元企業の経営支援をはじめ、地域における各種行事の企画・実行など多岐にわたっており、世代を超えて地域の絆をつなぐ中心的な役割を担っていただいておりますことに、深く敬意を表する次第であります。

今後とも島根の商工業の発展と地域経済の活性化のため、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も県民の総力を結集し島根が持つ強みを生かして、「活力ある島根」を実現するため、全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

皆様の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新しく事業を始められる方や中小企業・小規模事業者をはじめとするみなさまの夢の実現、お手伝い。

日本政策金融公庫は、中小企業・小規模事業者をはじめとするみなさまのための政策金融機関です。

新たに事業を始められる方へ

新規開業ローン

中小企業・小規模事業者のみなさまへ

国の事業ローン

お子さまが入学・在学される方へ

国の教育ローン

お問い合わせは

JFC 日本政策金融公庫

松江支店 国民生活事業 TEL 0852-23-2651
浜田支店 国民生活事業 TEL 0855-22-2835

日本公庫

検索



島根県商工会青年部連合会
会長 高橋 大輔

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。また、日頃は商工会青年部活動に対し深いご理解、ご協力そしてご指導を頂きまして厚くお礼申し上げます。

昨年、島根県商工会青年部連合会は、昭和42年10月に組織化されて以来、50周年という大きな節目を迎えることができました。また、11月には、青年部・女性部創立50周年を祝した記念大会を開催することができました。これもひとえに、県内青年部員の皆様の日頃の活動と、県青連へのご協力の賜物と感謝申し上げる次第です。

さて、この50年の間に、日本経済は、バブル経済の崩壊、デフレ不況等、様々な経験をしてきました。昨今の経済状況に目を向けましても、景気は緩やかな回復基調にあると言われていますが、少子高齢化が進む当県においては、依然として厳しい状況が続いております。しかしながら、こうした状況であるからこそ、地域に根ざした我々商工会青年部は、より一層躍動していかなければなりません。

本年は、この50年に渡り先輩方から引き継がれてきた地域に対する想いをしっかりと受け継ぎ、かけがえのない仲間と地域とともに、この先、10年、20年、100年の歴史を築き上げていく第一歩を踏み出す重要な年として、尽力していきたいと思っています。

最後になりますが、この1年が皆様にとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶



島根県商工会女性部連合会
会長 大谷 恵美子

皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。

旧年は、「中国・四国ブロック商工会女性部交流会」「島根県商工会青年部連合会・女性部連合会創立50周年記念大会」と大きな事業が二つ重なり、部員の皆様方には、大変お世話になりました。

私たち、女性部連合会は『きらりと輝く仲間の絆』をテーマにしておりますが、助け合う力が組織の発展に繋がり、そしてこの大会を通じ仲間の素晴らしさをより一層強く感じました。本当に皆様に対しては、感謝の気持ちでいっぱいです。

また平成31年度には、商工会女性部全国大会が島根県で開催される予定です。島根の「おもてなしの心」を充分発揮して、皆様方に喜んでお帰りいただければ幸いに存じます。

そして今年は役員改選の年で御座います。どの地域でも役を受けてくださる方が少ない現状です。役を受ける事は大変ですが、皆様方には色々な経験をさせていただき、私たち組織の担い手として、またご自身の成長にも必ず得るものがあると思っております。

最後になりましたが、皆様にとってこの一年が実り多き年になりますようお祈り申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。

島根県商工会青年部連合会・女性部連合会 創立50周年記念大会を開催

11月11日(土)、ホテル一畑(松江市)において、島根県商工会青年部連合会・女性部連合会創立50周年記念大会が開催され、来賓や県内の青年部員、女性部員など総勢400名が一堂に集結し、会場は熱気に包まれました。

記念式典では、県連石飛会長、県青連高橋会長、県女性連大谷会長がそれぞれ挨拶を行い、その後来賓を代表して、中国経済産業局小滝産業部長、溝口島根県知事、大屋県議会議長、全国連石澤会長、全国連・全青連顧問で参議院議員の宮本顧問、全青連越智会長、全女性連末武会長よりご祝辞をいただき、次の50年に向けて力強い一歩踏み出しました。

功労者等の表彰では、これまでの青年部・女性部活動の功績を称え、126名・1商工会青年部に表彰状が授与されました。また、歴代の県青連会長、県女性連会長へ感謝状が贈呈され、40周年記念大会時の会長である、第12代県青連岩成会長と第5代県女性連吾郷会長より歴代会長

代表挨拶が行われました。その後、県青連尾添副会長と県女性連青野副会長による大会宣言が高らかに行われ、式典は幕を閉じました。

式典終了後の記念講演では、株式会社ふくや代表取締役会長の川原正孝氏が「地域社会に貢献できる会社であり続けること」と題し、講演されました。



記念式典の様子

また、式典、講演会後は藤原島根県副知事をはじめ多数のご来賓をお招きし、懇親会を開催しました。アトラクションとして、青年部による「箱の中身はなにかな?」と女性部による「どじょうすくい踊り」が披露され、大いに盛り上がりを見せました。

最後は、県女性連石原副会長がお礼の言葉を述べ、記念大会の全日程が終了となりました。

平成29年度 商工会しまね県大会を開催

10月23日(月) 松江市のサンラポーむらくもにおいて、県内商工会から150名余の役職員参加のもと、溝口県知事をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、商工会しまね県大会を開催しました。

今年度の大会は、事業を継続していくために、着実な歩みを進めるため、県内各商工会の役職員が一堂に会し、組織力強化と資質の向上そして関係者相互の情報共有を図ることを目的に開催したものです。依然として厳しい経営環境の中、円滑な事業承継を推進し、事業を継続・発展させるために取り組み、事業承継を契機として、これからの事業戦略を明確にし、強い企業体質への転換が求められています。そのためには、これからの計画を作成し、その計画に基づいて行動することが重要です。

◆県知事感謝状等贈呈

第一部として、商工会役員功労にかかる島根県知事感謝状が溝口知事より永年勤続役員6名と永年勤続女性部役員1名に直接贈呈されました。また島根県商工会連合会長表彰状が石飛会長より16名を代表し1名に授与されました。



受賞者代表謝辞
桜江町商工会 山本理事

つづいて石飛会長が主催者あいさつを行い「事業を継続していくために、経営活動の根幹となる経営計画を策定し、販路開拓や生産性の向上により稼ぐ力を高める取り組みや、農商工連携による新たな取り組みなどにチャレンジしていただきたい。そのためにこれからも商工会は経営計画策定や、伴走型補助金の活用等着実な支援を行う。」と述べました。

次に来賓を代表して、溝口県知事並びに大屋県議会議長から祝辞を頂戴しました。



石飛県連会長



溝口島根県知事

◆基調講演

第二部として基調講演・主張発表が行われました。

深中メッキ工業株式会社 代表取締役 深田稔氏を講師にお招きし「先代の想いを引き継ぐ！三代目社長の世界に誇れる技術から学ぶ」と題し基調講演が行われました。「自身は文系の大学を出て、菓子メーカーに就職し、製造業とは全く無関係であった。父親の死を契機に事業を承継したが、年商の3倍に及ぶ債務の発覚、バブルの崩壊・リーマンショックなど様々な危機を乗り越えて来た。」「そのためには従業員育成に注力し、社会人としての心構えを指導し、

学校に通わせた。」「他にはない技術を身につけることで、シェア100%の商品を有し、これが復活へのきっかけとなった。」「など、実際に取り組まれたことを真摯な語り口でお話いただきました。参加者の皆様は、自らに重ねて真剣に聴講いただきました。



深中メッキ工業株式会社
代表取締役 深田 稔氏

◆主張発表

青年部・女性部の県大会で最優秀となった奥出雲町商工会青年部 八澤豊幸さんと隠岐國商工会女性部 中野勝枝さんから発表いただきました。八澤さんは「青年部活動と地域振興・まちづくり」青年部に出会えて良かった」と題し、勤めていた会社の倒産、そして「食用の花」で創業する折に商工会の支援を受け、青年部にも加入しそれが転機となったことを実直にお話いただきました。

また、中野さんは「女性部活



奥出雲町商工会青年部
八澤 豊幸さん



隠岐國商工会女性部
中野 勝枝さん

動と地域振興・まちづくり」地域活性化、まち興しは離島から！」と題し、女性部が中心となり「キンニャモニャ祭り」を初開催し、それが今年二十二代目を迎えるまでになったこととそれまでの取り組みを感情豊にお話いただきました。

大会決議(抜粋)

- 一、商工会は、会員企業の事業継続と、持続的な発展に向けた取組みを支援します。
- 一、商工会は、次世代を担う人材の育成に取り組みます。
- 一、商工会は、会員企業とともに、地域の未来を創造します。

地域経済の発展に資する 重要課題の解決に向けて

第57回商工会全国大会の開催

第57回商工会全国大会が11月16日（木）、全国から約3000人の会員が参加し、東京NHKホールで盛大に開催されました。本県からは各商工会より48名が参加しました。

今回の大会は、我が国経済の緩やかな回復が見られながらも、地方の中小企業・小規模事業者では好循環が実感できない厳しい状況であり、さらには後継者不足による廃業等、組織力の弱体化を招きかねないことから地域経済の発展に資する重要課題の解決に向けた決意表明を行うため開催されました。

大会は、沖田大会副会長の開会宣言の後、大会会長である石澤全国連会長が冒頭であいさつを述べられました。

また、ご臨席いただいた安倍内閣総理大臣からは「持続化補助金を活用しながら、日本経済のエンジンである小規模事業者の生産性向上に努め、下請けいじめ対策に徹底的に取り組む、元気で活力あふれる日本経済のため思い切った予算組み、税制



優良商工会等の表彰

各種表彰が行われ、島根県からは次の方々が受賞されました。おめでとございました。

【中小企業庁長官表彰】

◆優良青年部

斐川町商工会青年部

◆女性部功労者

斐川町商工会

青野 幸子

◆優良常勤役職員

島根県商工会連合会

村川 敏夫

【全国連会長表彰】

◆事業推進優良商工会等表彰

（商工会施行55周年特別枠部門）

桜江町商工会

（共済部門）

○商工貯蓄共済

・純増口数

雲南市商工会

○会員福祉共済優秀商工会

・純増口数50口以上

上位5商工会

雲南市商工会

・会員数に対する純増割合10%以上

10%以上

邑南町商工会

吉賀町商工会

・純増口数50口以上

隠岐の島町商工会

・都道府県商工会連合会推薦枠

島根県商工会

女性部連合会

◆役員功労者 19名

野田 恵子（まつえ北）

柳楽 晃彦（まつえ南）

福岡 達也（まつえ南）

曾田 利広（出雲）

前島 健二（出雲）

田口 泰之（銀の道）

若林 邦宏（銀の道）

小林 浩二（銀の道）

金崎 公一（銀の道）

岡田 浩治（銀の道）

大塚 行徳（銀の道）

林 茂樹（銀の道）

峠 輝義（銀の道）

横田 雪生（石見）

酒井 一昌（隠岐の島町）

武田 浩志（隠岐の島町）

石谷 鉄男（隠岐の島町）

黒田 耕三（隠岐の島町）

山中 唱晴（隠岐の島町）

◆青年部功労者 2名

服部 重雄（隠岐の島町）

久保 勝規（美濃）

◆女性部功労者 3名

末田百合子（邑南町）

宮本美保子（石見）

高木 恵子（まつえ南）

◆優良常勤役職員 6名

三浦 恭嗣（美濃）

糸賀 和弘（出雲）

米田 豊（出雲）

堀越 健（美濃）

麻布 公昭（美濃）

安達 雅子（美濃）

首都圏商談会

SNS等を活用した情報発信やPRツールの作成支援などを実施しながら首都圏での販路開拓を行う「SNSを活用した首都圏市場販路開拓事業」は、11月14日にゴールである東京での商談会を開催し、終了しました。

■商談会の開催

平成29年11月14日に「サンライズビル」(東京都中央区日本橋富沢町)で、商談会を開催しました。



参加企業は25社、当日の来場バイヤーは62人でした。

今回は、島根県ブランド推進課等の協力のもと、高付加価値商品や地域産品の取扱いに意欲があり、小ロット対応が可能であるバイヤーを招聘したことで、マッチングへの期待感が高まったことから、多くの参加企業とバイヤーの間で、熱のこもった商談が行われました。

その結果、商談全体件数は123件中、当日成約12件、取引有望先24件、商談継続先63件と、当日の大きな成果とともに今後に期待できる商談会となりました。



■SNS等を活用した情報発信
当事業では、参加事業者にFacebookページの開設支援を行い、ポータルサイト「あらまあしなね」により情報発信しました。



(<https://arama-shimane.jp/>)



このポータルサイトでは、参加企業の商品を使ったレシピや調理動画の掲載なども行いPRしていきます。一度、当サイトをご覧くださいできれば幸いです。

消費税の軽減税率制度について②

前号で、平成31年10月1日から、消費税の税率が8%から10%に引き上げられると同時に消費税の軽減税率制度(軽減税率対象品目の消費税率が8%となる制度)が導入されることから、その概要と対象品目について掲載しました。

今回は、仕入れ税額控除の要件として「適格請求書等保存方式」が導入されることについてご説明したいと思います。

「適格請求書等保存方式」は、インボイス方式とも呼ばれており、テレビや新聞等のメディアで目に触れた機会のあった方も多いかと思いますが、簡単に言えば、この方式で要求されている請求書等の記載内容が満たされていないと、商品を購入しても、仕入れ税額控除を受けることができなくなるということです。

これにより、(課税事業者である)購入者は、請求書の記載項目が満たされている販売店から購入することが必要となります。

このことから購入者は、既存の購入先へは、請求書へ控除要件の対応を迫るか、対応している先に変更することになります。販売側からみれば、請求書の記載要件を満たしていなかったために、事業者向けの取引先がなくなってしまう可能性があります。(次号へ続く……)

区分記載請求書等の記載事項

【区分記載請求書等に記載すべき事項】

- ① 区分記載請求書等発行者の氏名又は名称
- ② 課税資産の譲渡等を行った年月日
- ③ 課税資産の譲渡等に係る資産又は役務の内容
(軽減対象資産の譲渡等である旨)
- ④ 税率ごとに区分して合計した課税資産の譲渡等の対価の額(税込み)
- ⑤ 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

請求書

△△商事 ①

平成30年11月30日

⑤ 〇〇部中

11月分 131,200円(税込み)

日付	品名	金額
11/1	魚(8%)	3,400円 ③
11/1	牛肉(8%)	10,800円
11/2	お弁当(8%)	2,200円
...	...	...
合計		131,200円
10%対象		88,000円 ④
8%対象		43,200円

②

(出典：国税庁)

(出典：国税庁HP)

当制度について詳しく知りたい方は、最寄りの商工会までお問い合わせください。

10年ぶりに加茂中心街に 商工会館を活用したマイ クロスパーが開店！

平成29年10月24日（火）、地域の商工業者でつくる加茂町商工業振興協議会によってマイクロスーパー「かもマート」が開店し、記念式典に出席した石飛会長が祝辞を述べました。



開店したのはJR加茂中駅の近くにある約150mの通り。この通りには昭和50年代にお店が19店舗ありましたが、現在は5店舗に減少。食料品店は全て閉店しており、住民は遠方へ買い物に行かなければならず困っていました。

地域住民の生活を守るため、同協議会が国や市の補助金を活

用し、商工会加茂支所の一角に約90㎡の店舗を整備しました。



店舗運営は、商工会青年部・女性部を含む14名が出資して設立したまちづくり会社「(株)パティフ・プラス」が行っています。

店内には生鮮食品や飲料、生活必需品、文房具のほか住民が作った産直野菜や加工食品、弁当、総菜など全800アイテムが揃っています。

また、店内に住民の交流スペースも設け、地域の自主組織と連携し暮らしの困りごと相談にも応じています。

雲南市商工会も、店舗が継続できるような密着して伴走型の支援を続けています。

今後は、市、郵便局と連携して買い物弱者への配達や移動販売も検討するなど、今後はこの「小さな拠点」を核に、活気と賑わいを継続して創出していくことが期待されています。

★放送大学4月生募集のお知らせ★

放送大学では平成30年度第1期（4月入学）の学生を募集中です。放送大学はテレビ・ラジオ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

○出願期間 第1回：平成30年2月28日まで

第2回：平成30年3月20日まで

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学島根学習センターまでご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。

○入学説明会・相談会

（松江・出雲・浜田・益田で開催します）

お問い合わせは…

島根学習センターへ TEL：0852-28-5500



農業の明日をつくる メインバンク

農商工連携に取り組み、6次産業化を目指します。



退職金の準備を中小機構がお手伝いします

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください



中小機構

TEL:050-5541-7171
（共済相談室）

小規模企業共済

検索

www.smrj.go.jp/skyosai

珠算検定合格おめでとう

第187回商工会珠算検定試験が
11月19日(日)に全国一斉に実
施され、島根県では40名が受験
し、33名が合格しました。その
うち満点合格者は4名です。
次回は2月18日(日)に実施
されます。



3級までの合格者は次の通り
です。

3級合格者

山田奈那子さん(奥出雲町)
堀尾ほのかさん(奥出雲町)
戸屋 響哉さん(奥出雲町)

2級合格者

高木 結愛さん(奥出雲町)
長谷川 仁さん(吉賀町)

1級合格者

石田 心欣さん(奥出雲町)



謹賀新年

本年も何とぞよろしくお願い申し上げます



西日本自動車共済協同組合

島根県支部：松江市西津田 5-1-7 ☎：0852-26-5270
本部：福岡市博多区東比恵2-15-25 ☎：092-441-5901

地震などの天災による損害も補償する！

休業対応応援共済

- 地震・津波、台風の時も対応でき、事業再開に
かかる費用にお使いいただけます！
- 事業再開時には迅速に共済金をお支払いします！

お申し込み、ご相談は県下各商工会へ
島根県火災共済協同組合

☎ 0852-21-0249

元受団体 全日本火災共済協同組合連合会

大企業並みの充実した 福利厚生を提供します！

会費は1人月額1,000円！

健康診断助成

6,000円上限/年



慶弔給付金

祝金・見舞金給付

永年勤続・結婚
出産・入学・
成人・還暦・古希
偏病見舞金 など



その他サービス

割引施設利用
旅行助成
教育助成
インフルエンザ助成
など



お得な情報
盛りだくさんの
会報誌を毎月発行！

＜お問合せ先＞

東部地区の方は

ジョイメイトしまね
一般財団法人島根県東部労働者共済会

〒690-0886

松江市母衣町 55-4
松江商工会議所ビル2階

TEL

0852-28-6555

<http://www.joymate.or.jp/>



西部地区の方は

ジョイメイトいわみ
一般財団法人島根県西部労働者共済会

〒697-0026

浜田市田町 1711
みのりやビル2階

TEL

0855-23-5365

<http://www.sw-kyosai.or.jp/>



まずはお気軽にご連絡下さい！

保険に、

愛という本質を。

保険とは、人への愛から生まれるもの。

私たちジブラルタ生命は、

だれよりも、心からそう考えています。

だからこそ、保険をより良くするのは

人への愛だと信じています。

お客さまの声はつねに余すことなく、

一生懸命に聞きます。

時にはお客さま以上に、

本人とご家族のことを考える。

そして、万が一の時は

だれよりも速く全力で行動する。

私たちは、そのすべてに

持てる限りの力を尽くしていきたい。

それは、ご契約という入口から。

保険金をお届けするという

出口までのフルサービスを、

人を通じて皆さまにご提供し続けるのが

使命だと思うから。

この先もずっと、

保険に、愛という本質を。

私たちは、

ジブラルタ生命です。



【企業メッセージ動画】 企業メッセージ動画「父の想い篇」の続編「父の手紙篇」ができました。生命保険の意義や当社の企業理念を動画で表現しています。

ジブラルタ生命 動画 検索

ジブラルタ生命保険株式会社



Gibraltar
ジブラルタ生命

ミナ ジ ブロック

松江支社/〒690-0007

松江市御手船場町字伊勢宮553-6 松江エストビル7F

【コールセンター】0120-37-2269

【ジブラルタ生命ホームページ】<http://www.gib-life.co.jp/>

【受付時間】平日 8:30~20:00 土曜 9:00~17:00 (日曜・祝日・12/31~1/3を除く) 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。通話料無料。

集まれば、省エネ。



家族みんながこたつを囲んで「一緒に過ごす」。
そんな和やかなひとときが、省エネにつながります。
例えば食後の団らんの時間、
家族みんながひとつの部屋に集まれば、
エアコンや照明、テレビなどの電気の使用を
減らすことができます。
さらに家族との楽しいひとときが、
心の中で温めてくれるはず。
この冬「家暖らん」してみませんか。

家庭でできる省エネ情報はこちら

中国電力

検索

中国電力株式会社 <http://www.energia.co.jp/>



中小企業経営に関するご相談は 島根県信用保証協会へ！

島根県信用保証協会は、お客様一人一人に寄り添い、最適な経営改善プランをご提案いたします。
どんな小さなことでも、お気軽にご相談ください。

経営に関するご相談は 何でも相談 ホットライン

経営に関する様々な悩み、抱え込まずに当協会と一緒に考えてみませんか。当協会をご利用中でない方、創業予定の方でも無料でご利用いただけます。

電話・FAX共通

シエン ゴシナイ

0120-40-5471



本店営業部
TEL 0852-22-2837
浜田支店
TEL 0855-22-0833

女性相談窓口 チーム・ エスポワール

女性相談員 による相談窓口です。女性ならではの観点・感性を活かした対応やアドバイスを心がけ、安心してご相談していただけるよう取り組んでいます。

相談窓口（本店）

松江市殿町105番地
TEL 22-2837
FAX 22-3075

出雲支店
TEL 0853-21-4998
益田支店
TEL 0856-22-4567

専門家派遣 きょうかい専門家派遣事業 「結(ゆい)」

専門的な知識と経験を有する専門家を無料で派遣し、目標の実現や課題解決に向けたお手伝いをします。

充実した4つのコース！

- アドバイスコース
- 創業支援コース
- 事業承継支援コース
- 計画策定支援コース

相談料、診断料等はいただきません！

島根県信用保証協会

検索



CreAplus inc.

株式会社 クリアプラス

本 社	〒690-0048 松江市西嫁島一丁目5番17号	TEL 0852-21-3476	FAX 0852-21-3866
斐川工場 (出雲営業所)	〒699-0555 出雲市斐川町坂田564 坂田工業団地	TEL 0852-21-3849	FAX 0853-63-3855
会館事務所	〒690-0887 松江市殿町19-1 島根 J A ビル内	TEL 0852-21-3865	FAX 0852-24-1315
浜田営業所	〒697-0034 浜田市相生町3889	TEL 0852-21-3890	FAX 0855-24-8223